

用語の説明

○基準地震動の策定

基準地震動とは、原子力発電所の耐震設計に用いる地震動であり、新耐震指針に基づき、現時点における最新の知見、地質調査結果を踏まえて、発電所ごとに策定します。

○応答スペクトルに基づく地震動評価

地震による揺れは一般に地震の規模が同じであれば、距離とともに小さくなるため、地震のマグニチュードと震源からの距離により地震の揺れを評価する手法のことです。

○断層モデルを用いた手法による地震動評価

震源の広がりを断層面としてモデル化し、波の伝わり方、敷地の状況を考慮して、敷地での揺れを直接評価する手法のことです。震源近傍における地震動特性をより詳細に表せる半面、断層のモデル化、地震動評価には多くの情報を必要とします。

○地震動の超過確率

評価対象事象（地震動）が、その大きさを超えて発生する確率のことです。

○基礎地盤安定性評価

耐震安全上重要な施設を支持する地盤が、地震に対して十分な抵抗力があることを試験や解析を実施して評価する手法のことです。

○地震随件事象

想定される津波のシミュレーションを実施し、津波による海面の上昇量と下降量を推算することで、津波に対する発電所の安全性を確認します。

また、必要に応じて、周辺斜面の崩壊が原子炉建屋の安全性に影響を及ぼさないことを確認します。

○変動地形学的調査

断層や褶曲等により動いた形跡のある地形のことを変動地形といい、特にこれに着目した空中写真判読等による調査のことです。

○褶曲

一連の地層がとぎれずに、連続的に波曲している地質構造のことです。

○地球物理学的調査

地球物理学的調査は、地盤中の振動の伝わり方や、場所ごとに微小に異なる重力値等の物理的手段を用いて、地下構造を把握する調査のことです。

○文献調査

敷地、敷地近傍及び敷地周辺の地形、地質・地質構造に関する文献を調査することです。

○重力探査

場所ごとに微小に異なる重力値を測定して地下の大まかな構造を推定する調査のことです。

○反射法地震探査

地表で、人工の地震波を発射し、地下からの反射波を受信することで、地下の地質・地質構造を探る調査のことです。

○海上音波探査

海上で、船から海底に向けて音波を発射し、海底からの反射波を受信することで、海底下の地質・地質構造を探る調査のことです。